

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	裾野駅西土地区画整理事業における土留擁壁等設置費補助金				2担当課名	区画整理課				
3予算科目	款	8	項	4	目	2	事業コード	0873		
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		有							
	開始		H19	年度	～	終期(予定)	H41	年度	(終期設定有の場合のみ)	
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野都市計画事業裾野駅西土地区画整理事業における土留擁壁等設置費補助金					
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助				
8交付先分類	eその他									
9交付先	土地所有者									
10補助金の目的	裾野駅西土地区画整理事業の宅地造成において、造成地の土地所有者が自ら土留擁壁等を設置する場合の設置費に対し、補助金を交付する									
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	土地所有者が自ら土留擁壁(構造基準を満たした擁壁)を設置することにより、土地所有者の希望する外構・庭づくりが可能になるとともに、画一化されない景観の構築につながる									
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	土地所有者が所有する宅地の土留擁壁等の設置									
13積算根拠の有無	有									
14積算の考え方 計算式	土地所有者が自ら土留擁壁を設置した経費内、かつ、市が設置した場合の経費を上限									
15補助対象経費の設定の有無	無									
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足							
団体	—									
人数	—									
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	27 年度	28 年度	29 年度	補足						
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	0	0	0							
合計	0	0	0							
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足							
補助金	市	0	0							
助成金	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費(自己負担等)	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	0	0								
市の補助金の割合										

補助金名称	裾野駅西土地区画整理事業における土留擁壁等設置費補助金	担当課名	区画整理課
-------	-----------------------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	×	区画整理地内に限られる
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野駅西土地区画整理事業における土留擁壁等設置費補助金	担当課名	区画整理課
-------	-----------------------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	市にかわり土地所有者が擁壁設置する費用を補助するものであり、市の積算額が上限
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	土地所有者が自ら土留擁壁(構造基準を満たした擁壁)を設置することにより、土地所有者の希望する外構・庭づくりが可能になるとともに、画一化されない景観の構築につながる
2達成状況	申請事例なし

3補助効果の評価	dその他
4評価の理由	

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	所有者自身が擁壁設置工事を希望した場合に補助するものであり、市の工事費を超えるものではないため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

# 補助金チェックシート

## (1) 補助の内容

作成年度 29 年度

1補助金名称	土地区画整理事業補助金				2担当課名	区画整理課							
3予算科目	款	8	項	4	目	2	事業コード	0872					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		S58	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市土地区画整理事業助成要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動				7性質別分類②	b事業費補助							
8交付先分類	eその他												
9交付先	事業施行者												
10補助金の目的	土地区画整理法に基づく土地区画整理事業を施行する組合又は事業を施行しようとする者に対し、助成を行う												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共施設の整備改善、宅地の利用増進が図れる												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	組合、個人又は土地区画整理会社等による土地区画整理事業の施行												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	事業の規模・内容に応じて算出												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	27 年度	28 年度	補足										
団体	—												
人数	—												
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	27 年度	28 年度	29 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	0	0	0										
合計	0	0	0										
19団体・事業の財務内容	27 年度	28 年度	補足										
補助金	市	0	0										
助成金	その他	0	0										
事業収入		0	0										
会費(自己負担等)		0	0										
繰越金		0	0										
その他		0	0										
合計		0	0										
市の補助金の割合													

補助金名称	土地区画整理事業補助金	担当課名	区画整理課
-------	-------------	------	-------

## (2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

## (3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
<b>【必要性】</b>		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
<b>【妥当性】</b>		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
<b>【有効性】</b>		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
<b>【公平性】</b>		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	土地区画整理事業補助金	担当課名	区画整理課
-------	-------------	------	-------

### (5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	都市計画街路上の建物移転補償金のみ10分の10
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

### (6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	公共施設の整備改善、宅地の利用増進が図れる
2達成状況	裾野市南部組合区画整理事業(～H13)

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	都市計画の推進を図ることができる。

### (7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	事業を行おうとする個人、組合が出た場合、法に基づき市に援助の請求ができるため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			